

JR札沼線新駅設置に係る住民説明会の主な意見について

番号	質問・意見等	町の考え
1	新駅設置による時間的な影響について	停車による影響は2分程度となる見込み。新駅設置によりJR北海道において、ダイヤの改正が行われる。乗り継ぎについても配慮されたダイヤの改正になり、影響を受ける人もいれば、一方便利になる人もでると思う。 すべての列車が新駅には停車するわけではない。JR北海道の判断になるが、朝や夕方等多くの利用が見込まれると判断されると通勤ラッシュ時にも止まることになると思われる。
2	石狩太美駅の駐車場不足と新駅の駐車場について	石狩太美駅の不足している駐車場スペースについては十分認識している。石狩太美駅については、今後(令和3年度)JR北海道にてバリアフリーの改修を予定しているのので、併せて駐車場の検討を行えば良いと考えている。 石狩太美駅での駐車スペースがなければ新駅の駐車場を利用とする人もいとえられる。新駅については、十分な駐車スペースを確保するために、51台分の駐車場を設ける計画である。
3	周辺道路の工事車両と交通環境について	ロイズが拡張工事を行っており、工事車両も一定数の通行量があるが、工事が終われば工事車両も段々減ると考えている。農家等からの苦情等は今のところできていない。町道15線から国道337号方面にある交差点は札幌方面からは高いところから車がくるので見にくい状況であるが、これを解決するには難しい。今後ロイズへの誘導する案内看板を検討していかなければならないと考えている。
4	新駅駐車場の有料化について	駐車場については現時点では、当面無料の開放を考えている。ただ、今後の利用状況に応じて有料化も視野に入れる。
5	駅舎周辺の開発について	周辺の宅地開発については、農地であるため転用にはハードルが高い。今後、新駅ができることによって、宅地開発の構想がでてくれば柔軟に対応していきたいと考えている。 まずは、交流人口増加のための土地利用を促進していく。
6	新駅と「定住に向けた居住誘導」の考え方について	新駅周辺は先ず初めに観光・交流人口の増加を考えており、定住に向けた居住の誘導は太美市街地となる。太美市街地で一定程度住宅が埋まった場合、新駅周辺にも新たな宅地開発も考慮していく必要がある。
7	太美市街地の整備を優先するべき	新駅と石狩太美駅を中心とする市街地を別々に捉えるのではなく、一体的に発展していくことを期待している。 今回のケースは民と官が連携して行うもので、周辺の開発を進めることによってまちがつかれる。 このプロジェクトがまちのためになるのか、いかに良くしていくかについて議論してほしい。
8	交流人口の増加と定住人口の増加が結びつくのか？	定住人口を増やすのは私たちの目標であり、交流人口を増やすことも重要である。しかし、中々人口は増えてこない。交流人口の増加で定住人口の増加と同等の経済効果が生まれる。
9	ロイズ以外のコラボや公民連携の今後の展望について	行政だけで事業を進めるのは難しいと認識している。この町に資するものであれば、コラボして町を発展させていきたい。今後まちができるにあたって、積極的に民間と連携して次のプロジェクトを行っていきたい。
10	駅舎のデザインについて	デザインについては決まってない。外観についてはJR北海道がロイズと当別町の意見を取り入れ検討する。デザインが決まったら何らかの形でお知らせする。